

# エシカルってな～に？ それはだれかの笑顔につながるお買物！

10月・11月は、ならコープエシカル月間です



エシカルとは「倫理的」という意味です。エシカルなお買い物とは 地域 や 社会 、 環境 や 人々 に配慮して、モノやサービスを買うことを言います。

ならコープでは、利用することで社会に貢献できる商品がたくさんあります。あなたのお買い物(選択)が、だれかの笑顔、次世代へのよりよき暮らしにつながります。



組合員と生産者がよりよい商品の供給を通じ、安心してともに生活向上をめざす産消提携運動です。



JAならけん＆ならコープがプロデュースする地産地消ブランド「食べる“なら”大和」。奈良県内の農産物や県内農産物を原料とした加工食品をご提供します。



1981年から産直商品として取り扱いをスタートした治道トマト。ギリギリまで樹で熟した「旬のおいしさ・甘み」を味わうことができます。また規格外品を活用し、ジュースとして案内しています。



奈良県産ひのひかり1キロの利用につき1円が奈良県の大切な水源となる吉野の森を育てる活動へ募金されます。募金により2010年度から開始した植樹は、940本となりました。



1点利用につき1円を積み立て、奈良県環境県民フォーラムに寄付することで、奈良県の環境保護に貢献しています。



対象の1商品につき1円が、ユニセフをつうじてアンゴラ共和国の子どもが楽しく学べる環境づくりに使われます。



地元吉野の豊富な天然水を活用した「奈良桜よしの天然水」製造は(株)ハートフルコーポよしの(就労継続支援A型事業所)がおこない、障がい者の就労の場の提供とともに人と地域をつなげる拠点となっています。



## インフォメーション

### コープ七条

(奈良市七条西町) 2017年11月オープン予定



コープ七条は「毎日のおかずとその食材が安心して、楽しく買える店」の実現をめざしています。いつも「わたしを温かく迎えてくれるお店」「買いやしいお店」「安心できるお店」がコンセプト。だれもが“また食べたい”と思える商品、買やすい価格・サイズの提供、ならコープならではの商品開発をすすめます。

### ならコープwithローソン真美ヶ丘店

コープなんごうの開店に伴い昨年秋に閉店となったコープ真美ヶ丘は、組合員からの存続を望む声を多数いただき、株ローソンとの協業による**コミュニティ型店舗**という新たな業態として、6月にオープンしました。コープ商品・ローソン商品の品揃えで日々のくらしをカバーするとともに、これからも地域の方々から愛され、なくてはならない店舗をめざしてまいります。ぜひご利用ください。



# 組合員のつどい2017

## 平和とよりよい生活(くらし)のために

みんなで平和への想いと願いをつなげ、行動していきましょう！



ニューヨークへ代表を派遣「NPT  
(核不拡散条約)再検討会議代表派遣」(2015年5月)



被爆の実相を学ぶ「ヒロシマの旅」(2017年8月)



語り部の方と「おはなし会  
～戦争体験を聞こう～」(2017年8月)

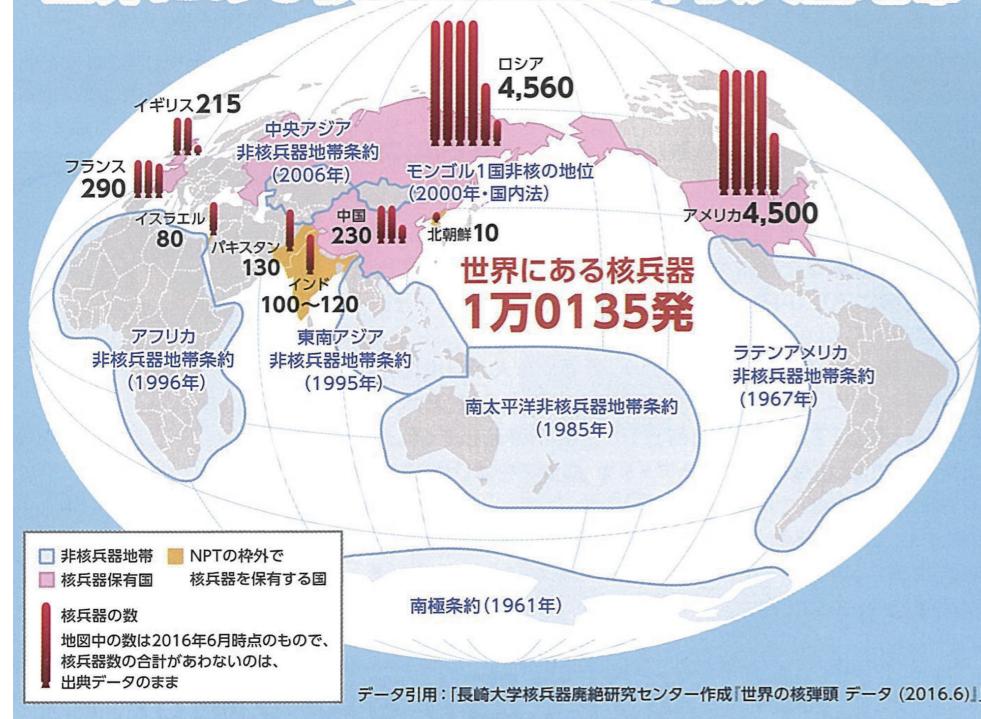
# ～子どもたちに核兵器のない安心してくらせる 平和な世界を引きつぐために～ ヒバクシャ国際署名にご協力ください！

## あなたの行動が世界を動かします。

たいせつな家族。あたりまえの日常を一瞬で奪い去る核兵器。  
地球上の誰よりも核兵器の恐ろしさを知る被爆者自らが「二度とヒバクシャをつくってはいけない」と訴え、生きている間に何としても核兵器のない世界の実現を願っています。  
平和な社会を次世代へ引き継ぐために、この奈良の地でできること、さらに全国の生協の仲間とともにできることを考え、平和の思いと願いをつなげ、行動していきましょう。



## 世界にある核兵器の数と非核兵器地帯



### 戦争・被爆証言の継承

ならコープでは、核兵器のない平和な社会をめざして、戦争・被爆の実相を学び継承する「ヒロシマの旅」、被爆者救援募金、戦争の悲惨さや平和の尊さを考える平和学習や憲法学習、国の動きや情勢を把握し一人ひとりが考えるための学び合い、NPT再検討会議への生協団代表派遣など、さまざまな活動をおこなっています。



## 組合員とともにすすめてきた平和の取り組み

1974	市民生活協同組合ならコープ創立
1981	原水爆禁止世界大会に代表派遣 せいきょうフェスティバルで「平和のための戦争・原爆展」を開催
1982	平和講演会 作家の早乙女勝元氏・むのたけじ氏を招く 「平和のための委員会(現:平和の会)」結成 ニューヨーク第2回国連軍縮特別総会(SSDⅡ)に署名と代表派遣

1983	平和大行進に初の参加
1984	ユニセフ・被爆者救援募金 始まる
1988	SSDⅢに代表派遣・署名活動 (59,681筆)
1990	平和のための委員会を「平和の会」に名称変更
1991	第1回「ノーモアウォーのつどい」開催 平和行進に初の通し行進者に職員を送り出す 湾岸戦争緊急募金に取り組む

## 「ヒバクシャ国際署名」とは… こんな署名です。

### 何を求めているの？

平均年齢80歳を超えた被爆者が、「後世の人々が生き地獄を体験しないように、生きている間になんとしても核兵器のない世界を実現したい」との思いから、核兵器を禁止し廃絶することを求めています。



### どこにいつ提出するの？

2020年までの毎年、国連総会(10月中旬～11月中旬)に提出します。ならコープでは2017年12月末までを集中期間として、取り組みを強化してすすめます。



どうしてならコープですすめるの？

核兵器を、国同士の威嚇や交渉の道具に使ったり、新たな核兵器を開発する動きがあります。現存する核兵器の破壊力は、ヒロシマ・ナガサキの2発の原爆の数万倍にもおよびます。被爆者自らの「生きている間に核兵器のない平和な世界を実現したい」という思いに、日本生協連をはじめ、ならコープなど全国の生協が共感しました。

### 本当にできるの？

7月7日に採択された核兵器禁止条約に、日本をはじめ全世界の国が署名するよう、たとえ小さくても声を上げ続けることで、世界を動かします。



## 被爆者救援募金へのお礼とご協力のお願い

ならコープは1984年から被爆者救援募金に取り組み、33年間で1億976万2,668円の善意が寄せられました。ご協力ありがとうございました。引き続き、被爆者支援のために被爆者救援募金へのご協力お願いします。

- 共同購入では、OCR注文書の6桁番号記入欄に番号と口数をご記入ください。
- 1口 100円…151513 ●1口 1,000円…151572
- 店舗では、サービスコーナーに募金箱を設置しています。

被爆者救援募金贈呈先:原爆被害者相談員の会、広島原爆被爆者援護事業団、日本赤十字社、広島赤十字・原爆病院、日本赤十字社長崎原爆病院、日本原水爆被害者団体協議会

### 「原爆被害者相談員の会」からの お手紙(抜粋)

毎年毎年、変わらずご支援していただき感謝します。どうやってこの気持ちを伝えてよいのかわかりません。もし私たちにならコープのみなさまに恩返しができるとしたら、この会を継続させてひとりでも多くのかたに被爆者の実相に触れていただき、戦争と原爆の悲劇を伝えることだと思っています。



1995 「核兵器は国際法違反」との勧告を国際司法裁判所に求める署名(61,323筆)

2002 被爆の実相を学ぶ「ヒロシマの旅」始まる

2005 NPT(核不拡散条約)再検討会議に組合員代表を派遣 筑紫哲也氏講演会「語ろう平和、考えよう日本の役割」を開催

2006 奈良県生協連のもと「ピース・アクション」をスタート

2007 「都市を攻撃目標にするな(CANT)プロジェクト署名」を開始

2010 NPT再検討会議に組合員・職員代表を派遣

2011 「核兵器禁止条約早期実現を求める署名」に取り組む

2015 NPT再検討会議に組合員代表を派遣

2016 木村草太氏(憲法学者)を招いて学習会を開催  
ヒバクシャ国際署名の取り組み開始  
核兵器禁止条約採択(国連加盟国193カ国中122カ国)賛成)